Anime Festival Asia 2022（AFA2022）

会　期：2022年11月25日（金）～27日（日）
会　場：Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre
主　催：SOZO Pte. Ltd.
共　催：㈱ホリプロインターナショナル／㈱HT Entertainment／
㈱ぴあグローバルエンタテインメント／㈱日本アジア投資／
㈱ライブエグザム
後　援：シンガポール政府観光局
対　象：アニメ、マンガ、ゲーム、JPOP Culture
公式サイトURL：https://2022.animefestival.asia/

総来場者数（参加数）：145,036人
　内訳：（国内（シンガポール）入場者数（参加数）：97,174人（67%）
　　海外入場者数（参加数）：47,862人（33%）
ビジネスエリアの来場者数（参加数）：公式ビジネスエリアは設定していませんが、
　　B2Bの商談などは適宜行われていました。
出展社数：企業164ブース＋個人（クリエイター）176ブース
プレス社数：161社

■開催内容

東南アジア最大級のJPOPカルチャーイベント「AFA22」は、2022年11月25日（金）～27日（日）、シンガポールの中心地域に位置するSuntec Singapore Convention & Exhibition Centreで３年ぶりに開催され、３日間で過去最高来場数となる14万5千人が来場した。コロナ渦前の2019年の来場者数は12万であり、今回は前回比で約20%増の来場者となった。来場者のうち約40%が本イベントへ初めて参加であったことが記録されており、本イベントの新規層の開拓が順調に推移していることが読み取れる。

イベントの内容としては、展示会をメインに、ステージでのパフォーマンス、トークセッション、コンサートなどが定番で、クリエイターの出展ブースも人気を博した。来場者の半数は入場料（約2,000円）以外に会場内で平均1万円の消費を行い、その大半は商品の購入であった。

AFAは常に最新のトレンドを意識し、様々なコンテンツを体感できるフェス型イベントで、著名・人気IPのブース展示をはじめ、人気コスプレイヤーとのサイン会、話題のアニメ作品の制作スタッフによるトークステージ、最新作品の上映会などが数多くの催しが準備され、フェス系アニソンコンサート・Vtuberイベントを含め、来場者から好評を博し、週末の全てのチケットが完売となった。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

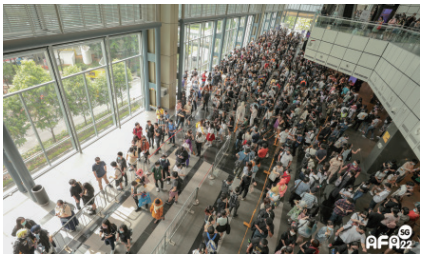
〈AFAVERSE〉

来場者のイベント体験を充実させる為、フィジカルのイベントとデジタル上でのエンターテインメント要素を融合させる「フィジタル」をコンセプトに、AFAVERSEという新しい要素を導入した。すべての来場者チケットをNFC付のリストバンドにし、入退場のトラッキングだけではなく、イベント会場内でポイントを取得し、取得した「ポイント」をインタラクティブなイベントで利用して楽しめる仕組みを提供した。

〈Vtuber〉

コロナ渦において認知度が急上昇したコンテンツジャンルとしてVtuberがあるが、東南アジアにおいてもそのトレンドは勢いがあり、AFA22においても多くのVtuber関連イベントが注目を浴びた。（ホロライブ・にじさんじ・PRISM Project・NHOT BOT・すとぷり・長瀬有花 など）

中でも「ホロライブプロダクション」と共に実施した、「hololive Meet @AFA Singapore 2022」は好評を博し、「ホロライブインドネシア」および「ホロライブEnglish」のタレントによるトークイベントをはじめ、hololiveの「角巻わため」による初の海外3Dライブを実現した。


開場前行列

クリエーターエリア「Creators Hub」様子

AFA 公式ショップの様子

メインステージコンテンツ観覧している来場者

「AKIBA Stage」にて DJ パフォーマンス様子

ゲストコスプレイヤーとコスプレ大会参加者のグループ写真